

現代哲学講義 3		2
現代哲学講義 4		2
現代哲学講義 5		2
現代哲学講義 6		2
現代哲学講義 7		2
現代哲学講義 8		2
古代哲学演習 1		2
古代哲学演習 2		2
宗教哲学演習 1		2
宗教哲学演習 2		2
近代哲学演習 1		2
近代哲学演習 2		2
近代哲学演習 3		2
近代哲学演習 4		2
現代哲学演習 1		2
現代哲学演習 2		2
現代哲学演習 3		2
現代哲学演習 4		2
現代哲学演習 5		2
現代哲学演習 6		2
現代哲学演習 7		2
現代哲学演習 8		2

## 2 経済学研究科

### (1) 修士課程

広い視野に立って精深な学識を授け、経済と環境および地域分野における研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要能力を養成することおよびそのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

#### ① 経済学専攻

授業科目	必修	選択	備考
------	----	----	----

< 演習科目 >			修了要件
演習 I		4	
演習 II		4	
演習 III		4	
演習 IV		4	
< 環境システム研究コース科目 >			<p>環境システム研究コースに所属する学生は環境システム研究コース科目より12単位以上選択履修し、単位を修得すること。</p> <p>経済システム研究コースに所属する学生は経済システム研究コース科目より12単位以上選択履修し、単位を修得すること。</p> <p>地域システム研究コースに所属する学生は地域システム研究コース科目より12単位以上選択履修し、単位を修得すること。</p> <p>各コースとも選択科目12単位を含めて30単位以上を修得し、かつ修士論文を提出し審査および最終試験に合格すること。</p>
環境経済学特論 1		2	
環境経済学特論 2		2	
環境経済学特論 3		2	
環境経済学特論 4		2	
環境政策特論 1		2	
環境政策特論 2		2	
環境政策特論 3		2	
環境政策特論 4		2	
国際環境特論 1		2	
国際環境特論 2		2	
国際環境特論 3		2	
国際環境特論 4		2	
地域農業環境特論 1		2	
地域農業環境特論 2		2	
地域農業環境特論 3		2	
地域農業環境特論 4		2	
都市環境特論 1		2	
都市環境特論 2		2	
都市環境特論 3		2	
都市環境特論 4		2	
環境評価特論 1		2	
環境評価特論 2		2	

環境評価特論 3		2
環境評価特論 4		2
<経済システム研究コース科目>		
ミクロ経済学特論 1		2
ミクロ経済学特論 2		2
ミクロ経済学特論 3		2
ミクロ経済学特論 4		2
マクロ経済学特論 1		2
マクロ経済学特論 2		2
マクロ経済学特論 3		2
マクロ経済学特論 4		2
マルクス経済学特論 1		2
マルクス経済学特論 2		2
マルクス経済学特論 3		2
マルクス経済学特論 4		2
財政学特論 1		2
財政学特論 2		2
財政学特論 3		2
財政学特論 4		2
金融論特論 1		2
金融論特論 2		2
金融論特論 3		2
金融論特論 4		2
経済数学特論 1		2
経済数学特論 2		2
経済数学特論 3		2
経済数学特論 4		2
経済統計学特論 1		2

経済統計学特論 2		2
経済統計学特論 3		2
経済統計学特論 4		2
労働経済学特論 1		2
労働経済学特論 2		2
労働経済学特論 3		2
労働経済学特論 4		2
計量経済学特論 1		2
計量経済学特論 2		2
計量経済学特論 3		2
計量経済学特論 4		2
景気循環論特論 1		2
景気循環論特論 2		2
景気循環論特論 3		2
景気循環論特論 4		2
<地域システム研究コース科目>		
国際経済学特論 1		2
国際経済学特論 2		2
国際経済学特論 3		2
国際経済学特論 4		2
国際金融論特論 1		2
国際金融論特論 2		2
国際金融論特論 3		2
国際金融論特論 4		2
日本経済論特論 1		2
日本経済論特論 2		2
日本経済論特論 3		2
日本経済論特論 4		2

日本經濟史特論 1	2
日本經濟史特論 2	2
日本經濟史特論 3	2
日本經濟史特論 4	2
西洋經濟史特論 1	2
西洋經濟史特論 2	2
西洋經濟史特論 3	2
西洋經濟史特論 4	2
經濟学史特論 1	2
經濟学史特論 2	2
經濟学史特論 3	2
經濟学史特論 4	2
開發經濟学特論 1	2
開發經濟学特論 2	2
開發經濟学特論 3	2
開發經濟学特論 4	2
地域經濟特論 1	2
地域經濟特論 2	2
地域經濟特論 3	2
地域經濟特論 4	2
地域文化特論 1	2
地域文化特論 2	2
地域文化特論 3	2
地域文化特論 4	2
國際文化特論 1	2
國際文化特論 2	2
國際文化特論 3	2
國際文化特論 4	2

＜共通科目＞		
特講 1		2
特講 2		2
特講 3		2
特講 4		2
＜自由科目＞		
研究英語演習 1		2
研究英語演習 2		2
研究英語演習 3		2
研究英語演習 4		2
研究日本語演習 1		2
研究日本語演習 2		2
研究日本語演習 3		2
研究日本語演習 4		2

(2) 博士後期課程

経済と環境および地域の新しい課題に挑戦し、研究者として自立的な研究活動を行うに必要な高度の研究能力および基礎となる豊かな学識を養うことおよびそのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

① 経済学専攻

授業科目	必修	選択	備考
＜演習科目＞			修了要件
研究演習 I		4	環境システム研究コースに所属する学生は環境システム研究コース科目より8単位以上選択履修し、単位を修得すること。
研究演習 II		4	
研究演習 III		4	
研究演習 IV		4	
研究演習 V		4	
研究演習 VI		4	
＜環境システム研究コース科目＞			
環境経済学特研 1		2	経済システム研究コ

環境経済学特研 2		2	ースに所属する学生は経済システム研究コース科目より8単位以上選択履修し、単位を修得すること。
環境経済学特研 3		2	
環境経済学特研 4		2	
環境政策特研 1		2	
環境政策特研 2		2	
環境政策特研 3		2	
環境政策特研 4		2	地域システム研究コースに所属する学生は地域システム研究コース科目より8単位以上選択履修し、単位を修得すること。
国際環境特研 1		2	
国際環境特研 2		2	
国際環境特研 3		2	
国際環境特研 4		2	
地域農業環境特研 1		2	
地域農業環境特研 2		2	
地域農業環境特研 3		2	各コースとも選択科目8単位を含めて20単位以上を修得し、かつ博士論文を提出し審査および最終試験に合格すること。
地域農業環境特研 4		2	
都市環境特研 1		2	
都市環境特研 2		2	
都市環境特研 3		2	
都市環境特研 4		2	
環境評価特研 1		2	
環境評価特研 2		2	
環境評価特研 3		2	
環境評価特研 4		2	
＜経済システム研究コース科目＞			
ミクロ経済学特研 1		2	
ミクロ経済学特研 2		2	
ミクロ経済学特研 3		2	
ミクロ経済学特研 4		2	

マクロ経済学特研 1	2
マクロ経済学特研 2	2
マクロ経済学特研 3	2
マクロ経済学特研 4	2
マルクス経済学特研 1	2
マルクス経済学特研 2	2
マルクス経済学特研 3	2
マルクス経済学特研 4	2
財政学特研 1	2
財政学特研 2	2
財政学特研 3	2
財政学特研 4	2
金融論特研 1	2
金融論特研 2	2
金融論特研 3	2
金融論特研 4	2
経済統計学特研 1	2
経済統計学特研 2	2
経済統計学特研 3	2
経済統計学特研 4	2
労働経済学特研 1	2
労働経済学特研 2	2
労働経済学特研 3	2
労働経済学特研 4	2
計量経済学特研 1	2
計量経済学特研 2	2
計量経済学特研 3	2
計量経済学特研 4	2

景気循環論特研 1		2
景気循環論特研 2		2
景気循環論特研 3		2
景気循環論特研 4		2
<地域システム研究コース科目>		
国際経済学特研 1		2
国際経済学特研 2		2
国際経済学特研 3		2
国際経済学特研 4		2
国際金融論特研 1		2
国際金融論特研 2		2
国際金融論特研 3		2
国際金融論特研 4		2
日本経済論特研 1		2
日本経済論特研 2		2
日本経済論特研 3		2
日本経済論特研 4		2
日本経済史特研 1		2
日本経済史特研 2		2
日本経済史特研 3		2
日本経済史特研 4		2
西洋経済史特研 1		2
西洋経済史特研 2		2
西洋経済史特研 3		2
西洋経済史特研 4		2
経済学史特研 1		2
経済学史特研 2		2
経済学史特研 3		2

経済学史特研 4		2	
開発経済学特研 1		2	
開発経済学特研 2		2	
開発経済学特研 3		2	
開発経済学特研 4		2	
地域経済特研 1		2	
地域経済特研 2		2	
地域経済特研 3		2	
地域経済特研 4		2	

### 3 法学研究科

法学研究科は、専門的職業人・公務員養成のための法学教育、および、専門的職業人・公務員等へのリカレントのための法学教育を行い、この教育プログラムを通じて身に付けることのできる法律専門知識および法的推論能力をリーガル・マインドに基づき社会において適正に活用できる人材を養成することおよびそのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

#### (1) 修士課程

##### ① 法学専攻

授業科目		必修	選択	備考
基礎科目群				修了要件単位  法学研究科修士課程を修了するには、履修に関する定めにしたがって30単位以上を履修し、かつ修士論文を提出して審査に合格しなければならない。 基礎科目群より12単位以上を修得しなければならない。 ただし、指導教員が研究指導上の措置として特に認める場合には、研究科委員会の承認を得て、4単位以上の修得を持つて足りるものとする事ができる。 基幹科目群より、専修科目と同一法分野に属する科目4単位以上を修得しなければならない。 専修科目より、4単位以上を修得しなければならない。
法 学 基 礎	公法 1		2	
	公法 2		2	
	私法 1		2	
	私法 2		2	
法 学 実 務 基 礎	訴訟法 1		2	
	訴訟法 2		2	
	税務手続 1		2	
	税務手続 2		2	
法 学 研 究 基 礎	研究入門 1		2	
	研究入門 2		2	
基幹科目群				